

緑豊かな環境を次世代につなぐ

特定非営利活動法人はかた夢松原の会

理事長 磯谷 慶子

令和六年四月二十六日に、天皇后両陛下ご臨席のもとで「第18回みどりで特定非営利活動法人はかた夢松原の会は、永年にわたる活動が評価され、「緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞」を受賞しました。この賞をいただくことができたのは、ひとえに当会の活動をこれまで支えてくだ

さった皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。

理め立てられ人工海浜となった百道浜に白砂青松の松原を復元しようという願い、松の植樹活動を始めて三十八年になります。約五万七千本を植樹し現在は世界に誇れる「クロマツ美林」が博多湾に誕生しています。

海浜地の植樹を通して見えてきたものは環境問題でした。環境問題の解決に向けて、海から川、川から水源地の森へと、地域の人々と深く交流を重ねながら、自然との関わり、自然と共に生きるための方策を模索しながら活動をしています。

また、当会の活動テーマは「水と緑とまちづくり」です。「エコシティ福岡市」の実現に向けて快適な環境づくりのため「二人一花運動」の団体として「国体道路花いっぱい運動」を実施し、保育園児、大学生をはじめ多くの市民の参加のもと、国体道路が美しくなり、大きな成果を上げています。

式典当日は、両陛下、国土交通大臣と懇談する機会に恵まれました。陛下は労をねぎらわれた後、皇太子時代に、海中道海浜公園に松をお手植えされており、マツクイムシ虫の被害や松の生育



活動の様子

状況等についての質問をされました。大臣からは、参加者の募集方法や事業の成果等の質問を受けました。

受賞者は、森林や里山の再生、花植えなどを行い、地域づくりや環境教育を展開されている団体で、短時間ではありましたが意見交換ができ、大変参考になる有意義な時間でした。

はかた夢松原の会は、この受賞を糧にこれからも緑豊かな環境を次世代につないで、続ける活動を展開してまいります。

これからもご支援賜りますようお願い申し上げます。感謝の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



(左)井上嘉人事務局長、(右)磯谷慶子理事長

緑のレポート

長崎
NAGASAKI

三原庭園を訪ねて

世界的庭園デザイナー石原氏の故郷である長崎市三原町。その愛着の地に2020年にオープンした三原庭園。今回は石原氏の情熱あふれる三原庭園を協会スタッフがレポートします！

MIHARA
GARDEN

長崎県長崎市三原2-26-11
年中無休：10:00~20:00
※庭園への入園は無料
(無料駐車場14台あり)



花畑南公園 地域が笑顔になる ガーデンを目指して

花畑3丁目1区町内会
スマイルガーデン

代表 野村絵美子
(緑のコーディネーター11期生)



活動メンバー
募集しています!

花畑公民館の主事さんからお声掛けいただき、長年放置され荒れていた花壇の土作りからスタートしました。土作りには、館長さんや、主事さんも参加してくださりました。

まず、たくさん埋まっていた碎石や、オシロイバナの肥大して芋のようになった大量の根を取り除くという作業からスタートし、堆肥をほどこしました。

スマイルガーデンという名前は主事さんが名付けてくださいました。

地域の皆様が笑顔になるようなガーデンを目指してお手入れをしています。

また、5月には『PW(※) みんなで育てるアンバサダー2024』に就任することになり、5月10日7名でPWの苗を沢山植え付けています。元々2~3月に植えていた宿根草とミックスして植栽しています。

通学路でもあるので、最近では子供が立ち止まってみたり、お散歩中に声をかけてくださる方、地域の皆様にだいぶん見ていただけるようになりました。

活動メンバーの方もこんなにたくさん咲いて楽しいと、お水やりをかかさずしてくださり助かっています。

これから夏に向けて、頑張りすぎないように、無理なく活動し、暑い夏を乗り越えられたらと思っています。

(※) PWとは、植物の国際ブランド PROVEN WINNERS(プルブウィンナーズ)の略称です。PW みんなで育てるアンバサダーとは、ボランティアサークルなど地域で活動される団体様向けのアンバサダー活動です。



庭園からの街づくり。—— 世界の人々が訪れたい街へ ——

長崎らしい坂道を登っていくと、たどり着いた先には彩り豊かな花々が咲く三原庭園のエントランスが待っていました。



一歩中に入ると石原氏プロデュースの美しい庭園が斜面地を利用して造られています。

斜面の階段を登ったり、下ったり。そのたびに現れる個性あふれる庭を見ることが出来ます。

石原氏は三原に帰るたびに、賑わいが失われていく街の光景を目の当たりにし、「庭園からの街づくりを」と決意しました。

三原庭園は庭だけにとどまらず、アー

トギャラリー、ショップ、カフェやバーも併設し、さらにはアパートをリノベーションした宿泊施設までも近々オープン予定とのこと、まさに「進化する庭」として、街が活気づきつつなっています。

ご案内ありがとうございました!

株式会社石原和幸デザイン研究所
株式会社長崎街づくりプロジェクト
片野さん



地元民には
当たり前の景色も
観光客には非日常



階段を登ったり下ったり
その先に見えるのは...!



目もおなかも
満たされる
映えカフェ

ディスプレイされ
ている雑貨は全
て購入可能。



霧が立ち込める様子も
上から望めます。

三原庭園、
上から見るか?
横から見るか?



ここはおとぎの国?
こども服ショップ

あれもこれも
ユニークな
施設がいっぱい



宿泊施設も
まもなくオープン!

夜景ビューが
楽しめるバー

屋上の癒し空間

石原氏プロデュース
アミュプラザ長崎 新館 屋上庭園
長崎県長崎市尾上町1-1

ちょっと
寄り道

アミュプラザ長崎新館の屋上庭園は、駅ビルとは思えないゆったりとした時間が流れ、市民の新しい憩いの場になっています。



パチリ



ポタニカルテーブル



一人一花園芸ボランティア養成講座(第1回)

城南区役所の協力を得て「一人一花ボランティア花壇活動」などに参加するボランティアとなるための講座を開催しました。



motto くわしくはこちらから



野間大池公園 見学研修会

今年も野間大池公園で、花づくり活動団体「野間大池公園花学校」代表深川さんによる、緑のコーディネーター・活動団体会員を対象とした見学研修会を実施しました。



motto くわしくはこちらから



小笹公園(花の駅)の春

緑のコーディネーター 藤井愛子



2024 紫陽花ワークショップ 挿し木(アジサイ・ミツマタ)

募集

野河内往還の会 (地域の森づくり活動団体) 日時/2024年6月30日(日) 9:00~12:00頃 場所/大山祇神社(早良区飯場)



ヤマアジサイとミツマタの挿し木をします。一緒に美しい景色を作っていきましょう。

舞鶴公園 三ノ丸広場におもてなしプランター



爺川柳

花たちよ 笑顔と癒し ありがとう



花言葉は「感謝」 かわいらしさと美しさを兼ね備えたピンクのバラの小さな花束をあなたへ

今年4月1日から6月30日まで3か月の期間で実施されている大分、福岡両県への誘客を図るJRグループなどの「デステイネーションキャンペーン」 5月、それに合わせて「湯ったりおおいた満喫キャンペーン」と銘打った福岡の旅行会社主催の「東洋のナイアガラ原尻の滝と岡城跡と世界屈指の炭酸泉長湯温泉」の日帰りバスツアーに参加しました。「日本の滝100選」に選ばれている雄大な原尻の滝を見下す場所(環境)で精一杯美しく咲く野の花や難攻不落の名城と知られる国指定史跡の岡城址のツツ

ジの時季を忘れず咲き散る(朽ち消える)さまに自らの老いを重ねました。 散り際の美しさと人生の儚さを考えて、私のフォト&リポートは今回をもって最後とさせていただきます。その心境は誇り高き才媛細川ガラシャが詠んだ「散りぬべき時知りてこそ世の中の花も花なれ人も人なれ」です。 数年にわたり私の稚拙なフォト&リポート読書の皆様は「ありがとうございます」の感謝の気持ちを込めて写真ではありませんがピンクのバラ(花言葉「感謝」)の小さな花束をお届けして心からお礼申し上げます。

おんせん県



国指定史跡「岡城跡」の二の丸跡に設置の瀧廉太郎像(朝倉文夫)と散りゆく白いツツジ(武田市大字竹田)



おもてなし花壇スポンサー 後藤謙治

おおいたへの日帰りバスツアーに参加して 旅先の美しい自然の中で 咲く花々に 自らの老いを重ねる

夏花壇に衣替え

夏花壇の植え付けでたくさんの緑のコーディネーターにご参加いただきました。ありがとうございました!

スマートケアホーム早良

5/7 花壇作成



5/14 植え付け



福岡ハートネット病院



志免町大的交差点

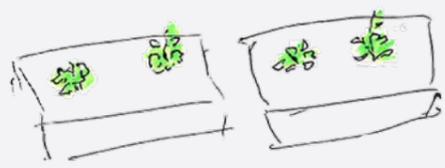
育てよう 緑のカーテン

緑のコーディネーター 高井カホル

まず大平裕氏の脱炭素についてのお話があり、次に岩田さんより緑のカーテンの育て方、植え方について説明がありました。その後、外でプランター9個に軟石(ボラ土)、敷板を入れその中に腐葉土1袋(25l)を入れプランター1個にゴーヤ2本を植え付け水をやり、屋上から網をたらしプランターに固定して終了です。皆さん手慣れた方ばかりで早めに終了しました。その10日後、プランターの中でよく育ってい

令和6年5月11日(土) 10:00~11:00 壱岐公民館(西区拾六町) 参加者/20名 講師/岩田登さん 主催/福岡市環境局脱炭素社会推進部 脱炭素社会推進課啓発係

ました。用土の追加と肥料をいれました。近所なので、ときどき経過を見に行きたいと思っています。



第1回 ちょいボラ & 育苗研修会 夏花壇に向けた植え替え

活動団体「舞鶴公園フラワーボランティア」代表で緑のコーディネーターの前田さんのご厚意で、夏花壇への植え替え作業を通じて、ビオラの採種ランキュラス球根の掘り上げの方法を学ぶ研修会を開催しました。研修会では豊富な経験と知識で、わかりやすく説明してくださいました。今号のグリーンノートでは、その研修内容の一部（夏花壇に向けた植え替え）をご紹介します。

令和6年5月24日（金）
舞鶴公園 三の丸スクエア
講師／舞鶴公園フラワーボランティア 代表 前田郁子氏
対象／緑のコーディネーター 地域の花づくり活動団体



前田さんの長年培ってきた技を教えてください、とても良い研修会になりました。

Step 01

1人3個頑張りました！



- まずは土づくり。20～30センチの深さに下記を混ぜ込みます。
- 苦土石灰（酸性土をアルカリ性に調整）
 - 鶏糞（遅効性肥料になる）
 - 化成肥料（N:P:K=8:8:8）
 - オルトラン（虫除け）少しだけ

Step 02



植え付けの前に、ポーチュラカを植えるための穴を5か所掘り、水をたっぷり入れます。

Step 04



植え付ける時は株元を持ち、苗の肩が土と並行になるようにしましょう。上から軽くギュッと押しつけて定着させます。

どんどん増えるので前田さんオススメの夏花！

Step 05

Finish



最後に真ん中に3株ローゼルを植え付けます。植え付けながら、ハス口を付けていないジョウロで苗の周りを円を描く様にぐるりと水やりします。これで、水がしっかりと浸透しながら、土が根の隙間を埋めながら固まります。翌日も水やりなしで大丈夫です。以上で、ちょいボラ & 育苗研修終了です。

研修全体の内容（上記以外にもビオラの採種とランキュラス球根の掘り上げ）については、こちらから



次回 ちょいボラ & 育苗研修会
「サクラソウの種まきと紫陽花の挿し芽」
開催時期／7月予定
対象／緑のコーディネーター、花づくり活動団体の皆さん

開催・参加者募集については、協会公式LINE・メールにてお知らせいたします。ご参加お待ちしております。

一人一花ハッスル事業 4団体が決定しました！

令和6年度

緑のコーディネーターの皆さん、頑張ってください！

緑のコーディネーターが取り組む地域や区役所での花・みどりづくり、公民館での講座などにより、一人一花運動が広がっています。この運動をさらに広げるため、緑のまちづくり協会では、福岡市緑のコーディネーターが自ら企画実施する事業を対象に助成を行います。今年度は、下記の4団体が決定しました。

1 回遊型魅せる圃場

団体名／舞鶴公園
フラワーボランティア
代表 前田郁子



場所／舞鶴公園・三の丸スクエア
内容／舞鶴公園にある三の丸スクエアのバックヤードの圃場に花の名前や種を蒔いた日にちや開花予定日などを記載した看板を設置し、見て楽しめる空間にしていきます。

3 五感を楽しみましょう

団体名／花笑くらぶ
代表 米倉治美

場所／西鉄大橋駅（電車乗降ホームに設置された花壇）
内容／「花とハーブの香る花壇」をテーマに、環境にやさしい循環型社会を視野にいたした「花のあるまちづくり」活動をします。花壇活動の他にも「押し花額絵」「葉っぱでお絵描きエコバッグづくり」講座を計画しています。

2 簡単堆肥づくり

団体名／グリーンぱんだ
代表 坂本憲治

場所／七隈緑地
内容／落ち葉や雑草等の草刈りの際出た刈り草、生ごみなどを使った堆肥づくりをおこないます。

4 植物を生活に取り組み ～多肉植物を使って 洋風箱庭づくり～

団体名／グリーンリンク
代表 森主美

場所／公民館他
内容／自分の好きな庭をイメージしながら、多肉植物やオブジェを使って自分だけの小さなお庭づくりの勉強会と講座を開催します。

今年度も
よろしくお願ひします



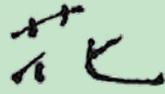
福岡市住宅都市局 一人一花推進部
一人一花推進課、事業推進担当



令和6年度
事務局メンバー
（公財）福岡市緑のまちづくり協会
みどり課



mori
hana



大濠公園カエデ会 田上逸子

カエデ花壇は今年もテッポウユリが満開になりました。
通行の皆さんに喜ばれています。
(大濠公園入口ミスタードーナツ前です。)

みどりが丘落葉リサイクルの会 山田芳治

今年は例年よりもハカタユリが一段と大きくなりました。今朝!一気に開花しました。花卉も3つです。やはり半日陰が良いのでしょうか。



おおまち自然と緑を楽しむ会 佐々木恵子

ピンクのワトソニアが咲き出しました。
※ワトソニアは、野間大池公園花学校より

緑のコーディネーター 葛原朋子

5月の美しいバラの庭へようこそ。自宅で開かれたオープンガーデンに訪れた人々とバラを通じて素敵な交流が生まれています。



募
集

地域の森・花づくり活動支援事業 助成対象団体

緑のまちづくり協会が市内の公共用地で緑化活動を行う市民団体に、植物や資材の購入費用を助成します。

助成対象

地域の森づくり

樹林地等の保全管理を行う活動
(面積が 300 m²以上)

市街地に植樹を行う活動
(面積が 150 m²以上)

地域の花づくり

花壇づくりなどを行う活動
(面積が 10 m²以上)



申請期間

7月1日(月)～31日(水)

申込・お問い合わせ

公財福岡市緑のまちづくり協会
みどり課企画推進係

TEL:092-260-8816 FAX:092-401-1384



アンケートにご協力お願いします

下記を明記の上、メールまたはFAX、webにてご応募ください。

- ①住所・氏名・年齢・電話番号②良かったページ③本誌に期待すること、ご意見など



webアンケート

投稿をお待ちしています

グリーンノートへの記事投稿は、原稿、写真を郵送またはメールにて提出してください。
8・9月号(8月号)への投稿締切は7月25日です。

発行元・あて先

(公財) 福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
福岡市中央区小笹5丁目1番1号
福岡市植物園 緑の情報館内

✉ ks@midorimachi.jp

☎ 092-260-8816

☎ 090-846 3-9982

☎ 092-401-1384



ホームページ



限定

買えるのは、
福岡市植物園売店
だけ!

新発売



「グリッピ×福岡市動植物園×一人一花運動」
マイルドライナー3本セット(オリジナルロゴ入り)税込500円

グリーンノートは編集から構成デザインまで、福岡市緑のまちづくり協会職員が制作しています。